

40代
ミドル男性
白書

[2 0 1 7]

-ミドルエイジの身だしなみ意識調査-

LÚCIDO

株式会社マングム

調査のねらい

マンダムが展開する「ルシード」は、“エイジングをカッコよく！”をスローガンに、ミドル男性をサポートするとともに、3月16日を『**ミドルの日**』と制定することで、彼らを力強く応援してまいりました。その一環として昨年引き続き、ミドル男性の中でも、中心年代である「**40代**」に**フォーカス**し、体の変化だけでなく、**心のありよう**にも目を向け、より深いインサイトを掘り下げて調査し、「40代ミドル男性白書」としてまとめました。今回の白書は、前回(昨年)の調査結果と、今回の調査結果を比較し、ミドル男性の**価値観や行動の変化**を検証しています。マンダム及び「ルシード」は、引き続き調査を定期的に行うことで、ミドル男性が、**より輝く人生を送れる**きっかけを作ってまいりたいと考えております。

調査概要

調査内容

- ・生活全般に対する意識や価値観、消費に関する意識や行動、エイジングに対する考え方、おしゃれや身だしなみに関する意識や行動等
- ・40代ミドル男性を軸に、他の年代、および女性にも同様の設問で調査し、ミドル男性と比較
- ・昨年結果と比較

調査手法

インターネット調査

調査エリア

全国

調査対象者

20～69歳男性／20～49歳女性

※同業種排除(広告、マーケティング、マスコミ関係／百貨店・スーパー・CVS/医薬品・化粧品関係)

サンプル数	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	206s (175s)	206s (231s)	206s (212s)	206s (204s)	206s (222s)	1030s (1043s)
女性	206s (170s)	206s (225s)	206s (210s)	—	—	618s (605s)

※国勢調査(平成22年)の人口構成比に合わせて集計を行った
※上段:回収サンプル数 下段:ウェイトバック後のサンプル数

調査期間

2016年9月16日(金)～2016年9月20日(火)

目次

1. 40代ミドル男性の意識

40代ミドル男性の家族とお金	03
40代ミドル男性の価値観	04

2. 40代ミドル男性の変化

40代ミドル男性の人生観と理想像の変化	05
40代ミドル男性の身だしなみ“意識”の変化	07
40代ミドル男性の身だしなみ“行動”の変化	08
【TOPICS.1】 伸長を続ける「男性身だしなみ関連アイテム」市場	09
【TOPICS.2】 女性から見た40代ミドル男性の身だしなみ	10
まとめ	12

40代ミドル男性の家族とお金

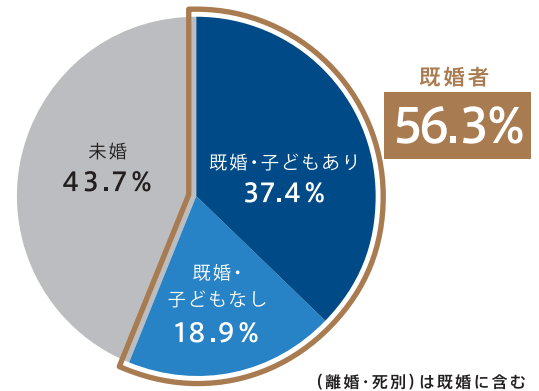
今回の調査では 未婚者・既婚者が拮抗 約4割が「子供あり」。

今回調査した40代ミドル男性のうち、過半数の**56.3%**が既婚者、**43.7%**が未婚者と拮抗していました。

これは、一般的な40代男性の既婚率よりも低く*、未婚者の意見がやや強く反映される結果となっています。なお、対象者の内**37.4%**は子供がいることが分かりました。

*H27年国勢調査では40代男性の72.6%（「配偶関係不詳」を母数から除外、「死別・離別」を有配偶に含む）が既婚となっております。

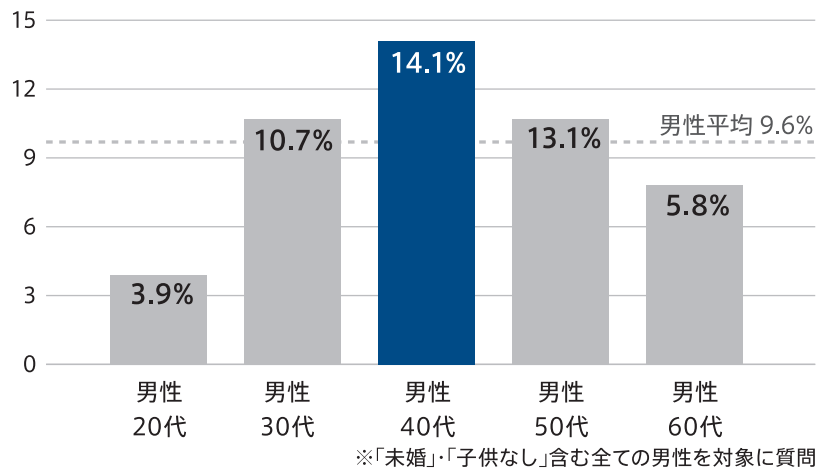
40代ミドル男性の妻子の有無



子供のための出費を 何よりも優先させている

男性全体に対して「子供のための出費を何よりも優先させているか」という質問をしたところ、「あてはまる」と答えた40代ミドル男性の割合は、14.1%と男性平均の9.6%と比べ、4.5ポイント上回り、**年代間比較で最も高い**ことが明らかとなりました。

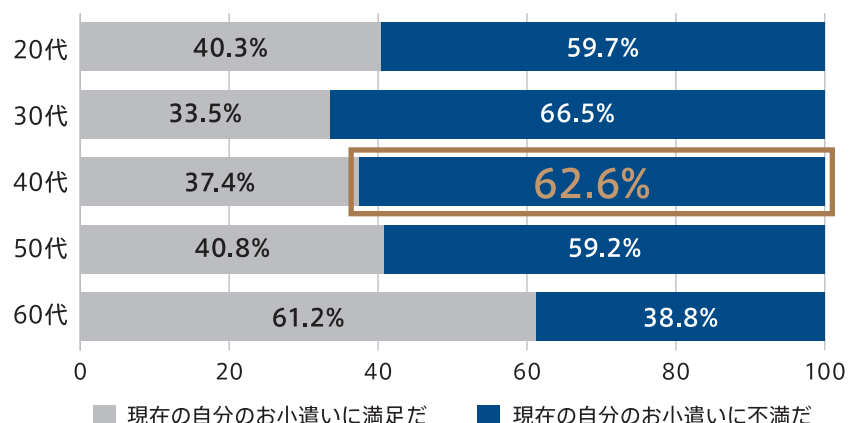
子どものための出費を何よりも優先させている割合



6割以上が 現在のお小遣い額に 不満

「現在のお小遣い額に満足か不満足か」という質問に対し、今回の調査では、「不満だ」と答えた40代ミドル男性は62.6%と、**他の年代と同様に過半数以上**にものぼりました。

男性のお小遣い満足度

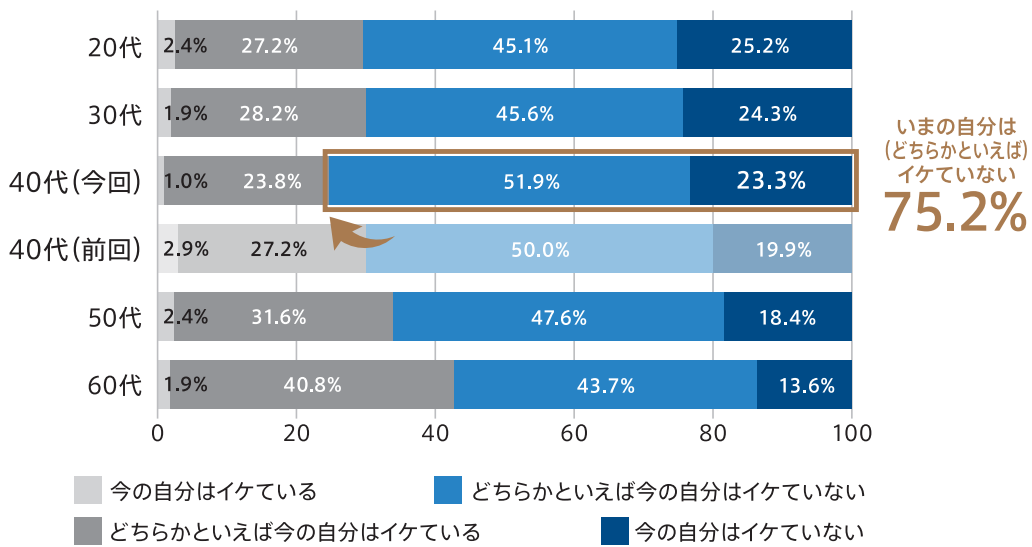


40代ミドル男性の価値観

7割以上が現在の自分自身に自信を持っていない

「総合的に今の自分はイケていると思いますか」という質問に対し、「どちらかといえば今の自分はイケていない(51.9%)」、「今の自分はイケていない(23.3%)」と、**全年代で最も多い、75.2%もの40代ミドル男性が、自信を持っていない**状況が明らかとなりました。また、前回の結果と比較すると、自信を持っていない割合が、5.3ポイント増加しています。

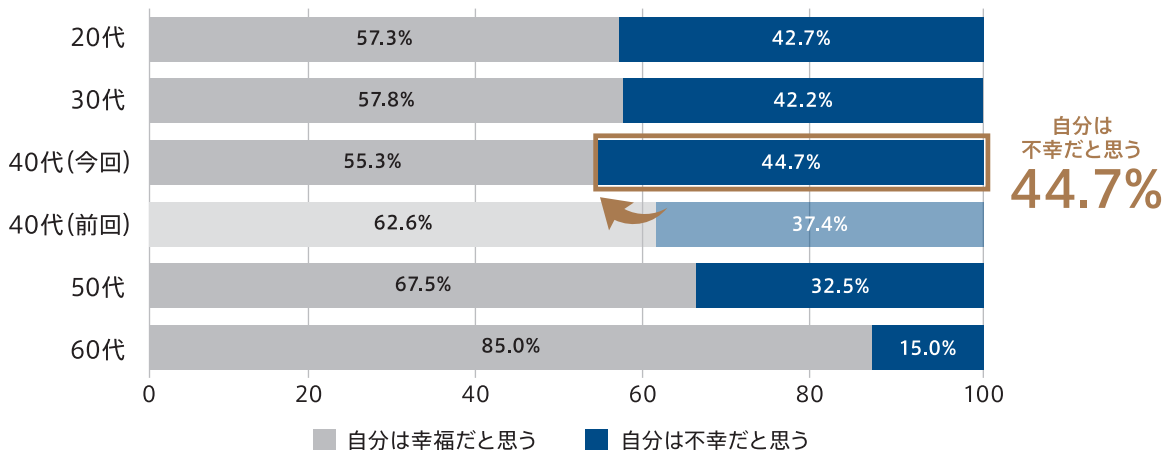
現在の「イケてる度」



約半数が「自分は不幸である」と回答

ふだんの考え方について、「自分は幸福だと思う/自分は不幸だと思う」のどちらに近いかの質問に対して、**40代ミドル男性の約半数である44.7%が「自分は不幸だと思う」に「やや近い」、「近い」と回答**。この割合は**全年代で最も高い割合**でした。また、前回の結果と比較すると、7ポイント以上も「自分は不幸だと思う」割合が増加していることが見て取れます。

男性の幸福度

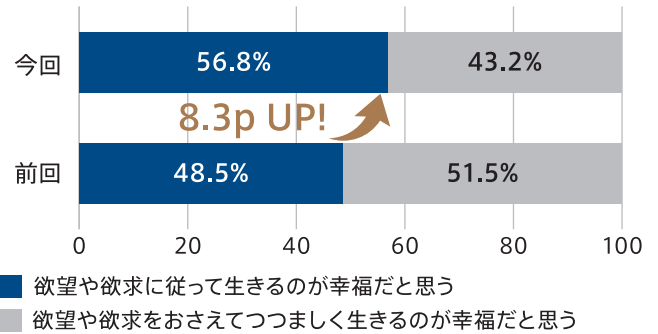


40代ミドル男性の人生観と理想像の変化

「欲望や欲求をおさえてつましく」よりも、 「欲望や欲求に従って生きる」のが幸福

ふだんの考え方について、「欲望や欲求に従って生きるのが幸福/欲望や欲求をおさえてつましく生きるのが幸福」のどちらに近いかの質問に対して、「欲望や欲求に従って生きるのが幸福」と答える割合が48.5%(前回)⇒56.8%(今回)と伸長し、**価値観の変化**が見られました。

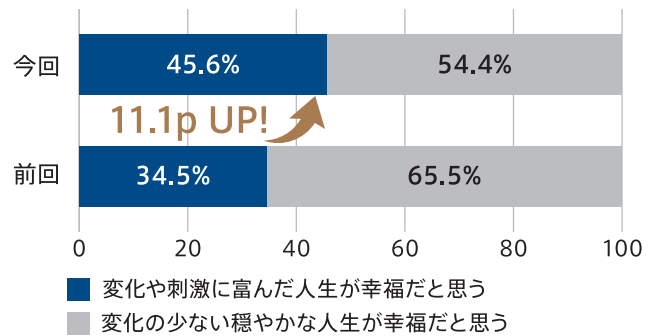
幸福度調査/「欲望や欲求に従う」or「欲望や欲求をおさえて」



「変化や刺激に富んだ人生が幸福だと思う」 と回答する割合が上昇

ふだんの考え方について、「変化や刺激に富んだ人生が幸福だと思う/変化の少ない穏やかな人生が幸福だと思う」のどちらに近いかの質問に対して、「**変化や刺激に富んだ人生が幸福だと思う**」と回答する割合が、**11.1ポイント伸長**しました。

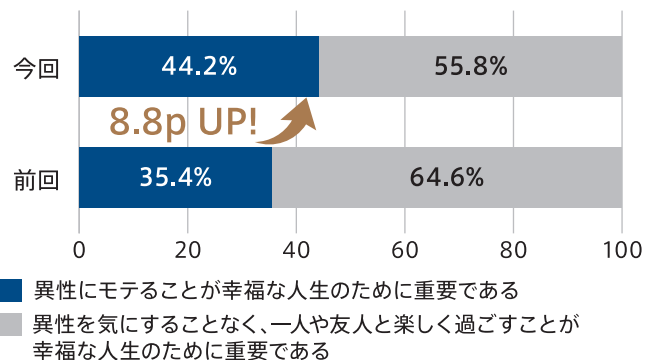
幸福度調査/「刺激や変化」or「穏やか」



「異性にモテることが幸福な人生のために重要である」 と回答する割合が上昇

ふだんの考え方について、「異性にモテることが幸福な人生のために重要である/異性を気にすることなく、一人や友人と楽しく過ごすことが幸福な人生のために重要である」のどちらに近いかの質問に対して、「**異性にモテることが幸福な人生のために重要である**」と回答する割合が、**8.8ポイント伸長**しました。

幸福度調査/「異性」or「一人や友人」



40代ミドル男性の人生観と理想像の変化

かっこいい男性イメージ「自分の信念を貫く」が伸長

「かっこいい男性」イメージについて伺ったところ、上位トップ10を昨年結果と比較すると、8項目で順位の入替えが発生しているとともに、**5項目**が今回新たにトップ10入りを果たすなど、**価値観の変化**が見て取れます。

なお、今回のトップは、前回に引き続き「男らしい」が前回/35.4%⇒今回/26.2%でした。

しかし、前回と比較すると9.2ポイント大幅ダウンしています。

変化の内容を見ると、「自分の信念を貫く」が前回/15.5%⇒今回/24.3%と、選択肢中最も大きく伸長しました。加えて、「クールな」や「色気のある」も前回より上昇しています。

一方で、前回調査で上位にランクインされていた「品のある」、「さわやかな」がトップ10から落ちています。

「品のある」・「さわやか」といったソフトなイメージの男性より、「クール」で「色気のある」シャープな男性へ、40代ミドル男性が憧れを抱き始めている傾向が推察されます。

今回調査			上がった項目		
1位	男らしい	26.2%	→	自分の信念を貫く	+8.8p UP
2位	自分の信念を貫く	24.3%	↑	クールな	+4.9p UP
3位	クールな	23.3%	↑	ストイックな	+4.4p UP
4位	誠実な	18.9%	↓	おもしろい/ユーモアのある	+3.4p UP
5位	しぶい	18.0%	→	ひとつのことを極めている	+3.4p UP
6位	色気のある	18.0%	↑	あきらめない	+2.0p UP
7位	仕事のできる	17.5%	↓	色気のある	+1.5p UP
8位	知性的な	17.0%	→		
9位	周囲に気遣いや配慮ができる	17.0%	↑	下がった項目	
10位	ストイックな	17.0%	↑	男らしい	-9.2p DOWN
11位	落ち着いている	16.5%	↓	自然体の	-7.7p DOWN
12位	おもしろい/ユーモアのある	16.5%	↑	精神的に強い	-7.3p DOWN
14位	品のある	15.5%	↓	たくましい(肉体的に)	-5.4p DOWN
15位	精神的に強い	15.0%	↓	一生懸命な	-5.4p DOWN
20位	さわやかな	13.6%	↓	品のある	-4.9p DOWN
				さわやかな	-4.8p DOWN

金字/今回新たにトップ10入りした項目 青字/今回トップ10から落ちた項目

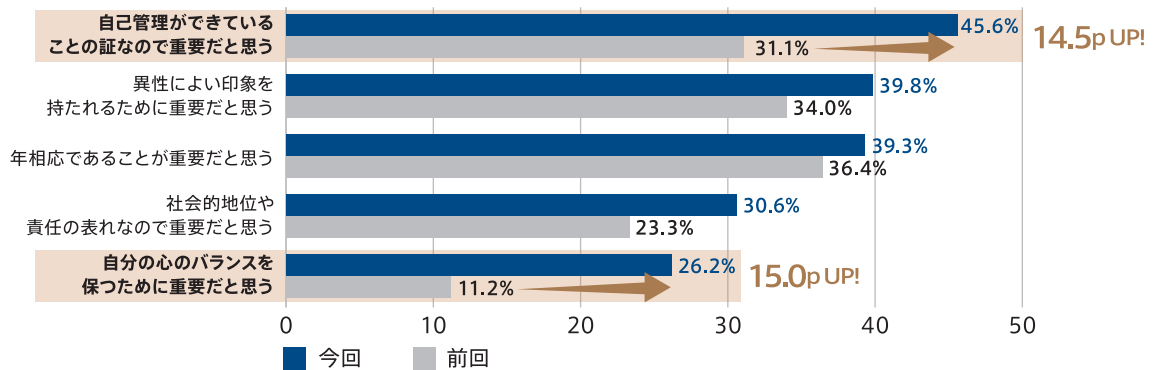
2.40代ミドル男性の変化

40代ミドル男性の身だしなみ“意識”の変化

身だしなみケアの定着

身だしなみ意識への共感性に関して、昨年度と比較し、**全般的に共感性が高まっており、身だしなみケアの定着**が推察されます。中でも、「自分の心のバランスを保つために重要だと思う(前回/11.2%⇒今回/26.2%)」、「自己管理ができていることの証なので重要だと思う(前回/31.1%⇒今回/45.6%)」は、共に10ポイント以上共感性が高まりました。今回、2位に「異性によい印象を持たれるために重要だと思う」がランクインしていることから、自身の為だけでなく、「**異性の目**」を意識する傾向が高まっていることが見て取れます。

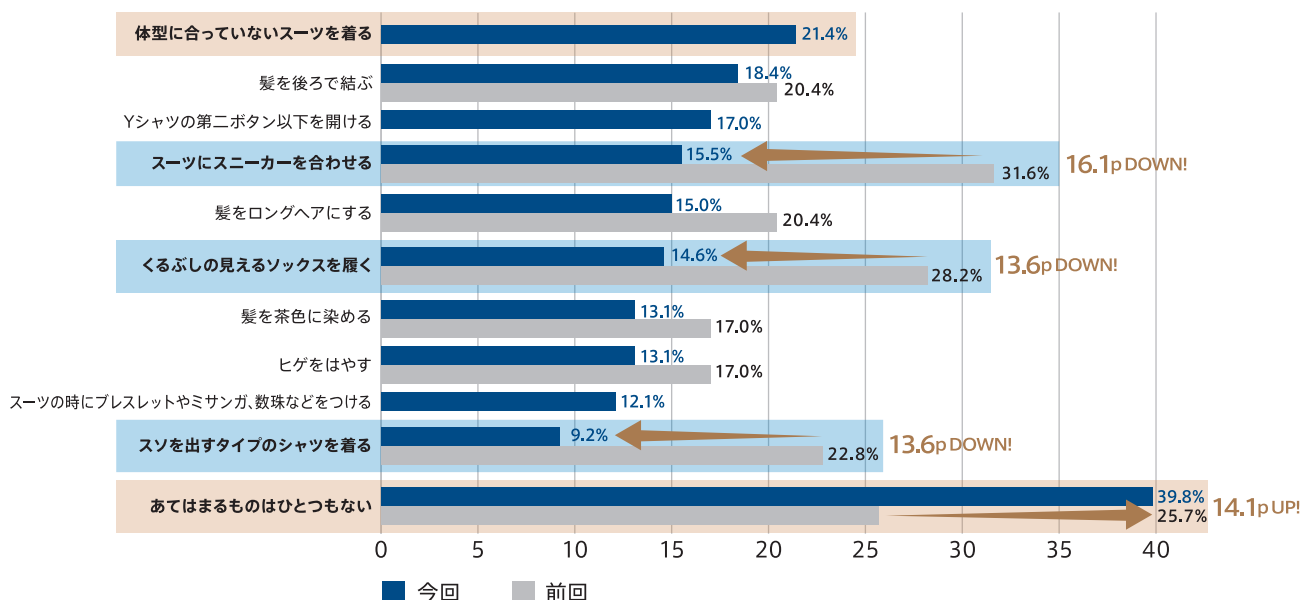
40代ミドル男性の身だしなみ共感性トップ5



ビジネスシーンでの身だしなみは、より自由・寛容に

ビジネスシーンでの身だしなみに対して「他人がやっていて許せない」行為を聞いたところ、「**体型に合っていないスーツを着る**」が**21.4%**と今回**トップ**でした。前回と比較すると、「スーツにスニーカーを合わせる(前回/31.6%⇒今回/15.5%)」、「くるぶしの見えるソックスを履く(前回/28.2%⇒今回/14.6%)」、「スソを出すタイプのシャツを着る(前回/22.8%⇒今回/9.2%)」をはじめとして、**全ての項目で「他人がやっていて許せない」と答える割合が減少**しました。またこれらの結果に加え、「あてはまるものはひとつもない(前回/25.7%⇒今回/39.8%)」との結果から、40代ミドル男性の**ビジネスシーンにおける服装の寛容度が増している**と推察されます。昨今のオン・オフ境目の無いファッショントレンドが40代ミドル男性へも影響を与えているのかもしれませんが。

「一般的なビジネスの場(クールビズを含む)」での男性の身だしなみ行為として、他人がやっていて許せないと思うもの



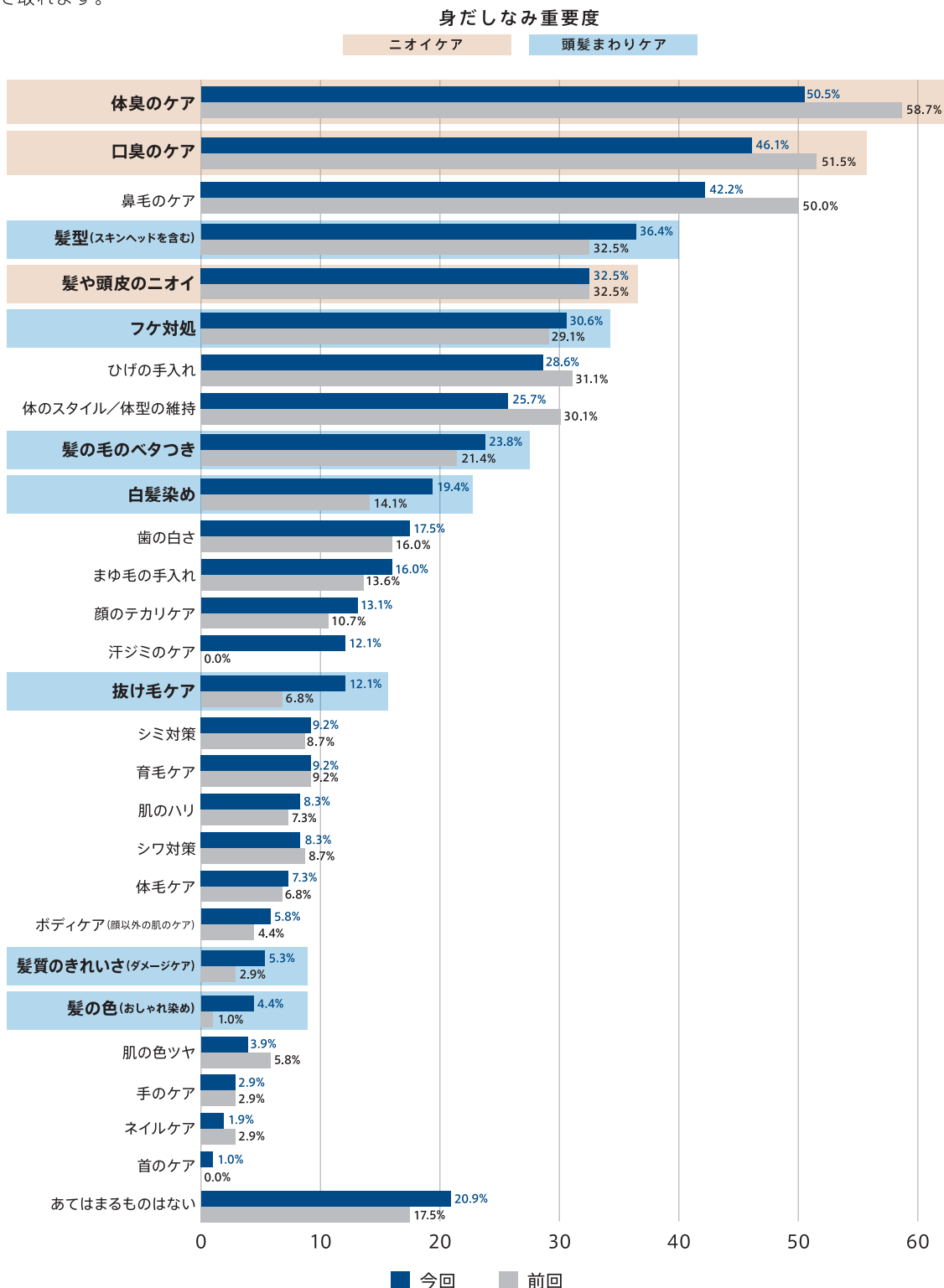
2.40代ミドル男性の変化

40代ミドル男性の身だしなみ“行動”の変化

「ニオイケア」はマスト 頭髪周りの重要度が上昇

身だしなみの重要度を聞いたところ、「体臭のケア（前回/58.7%⇒今回/50.5%）」、「口臭のケア（前回/51.5%⇒今回/46.1%）」は減少傾向ではあるが、依然重要度が高く、40代ミドル男性にとって**ニオイケアはもはやマストと考えていること**が推察されます。

また、「白髪染め（前回/14.1%⇒今回/19.4%）」、「抜け毛ケア（前回/6.8%⇒今回/12.1%）」と**頭髪周りの身だしなみ重要度が上昇**していることも見て取れます。

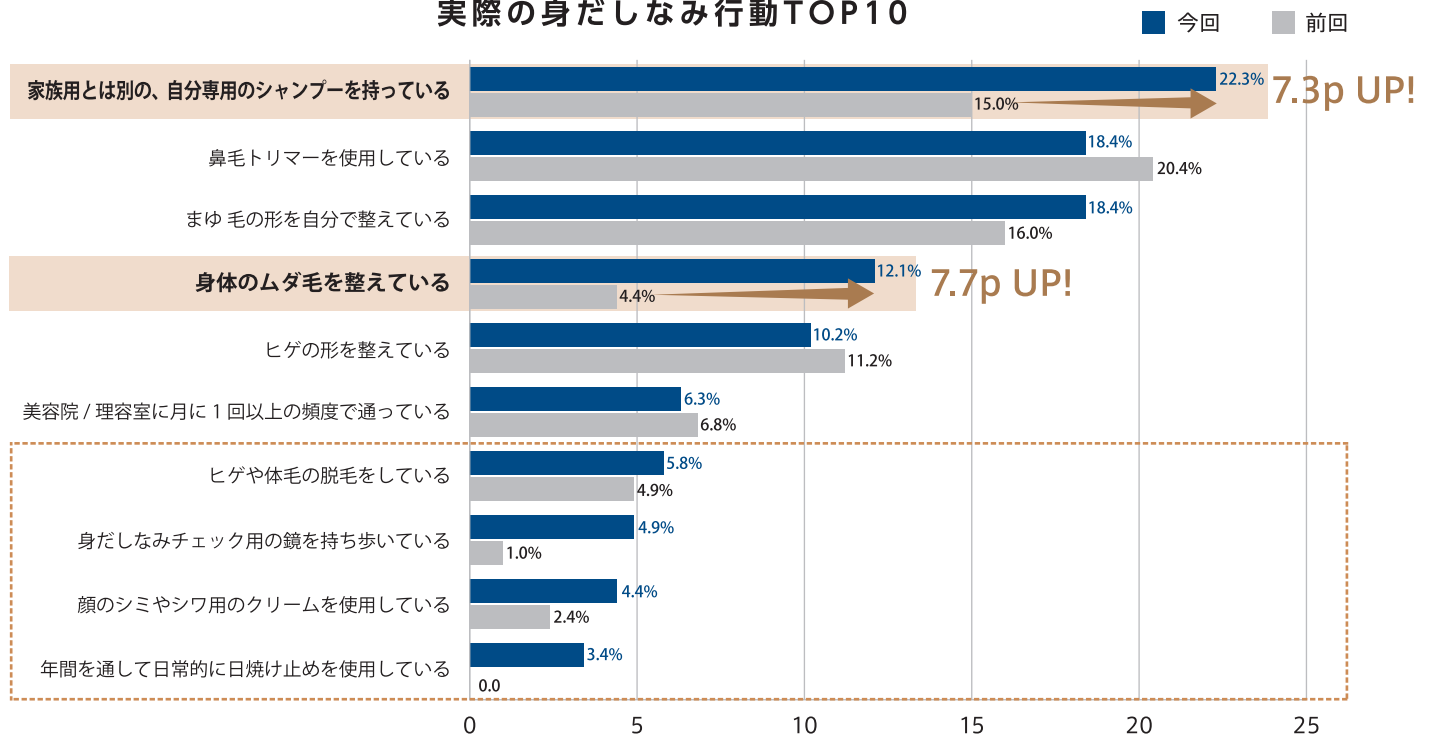


40代ミドル男性の身だしなみ“行動”の変化

「家族用とは別の、自分専用のシャンプーを持っている」が大幅に伸長し、身だしなみ行動トップに

実際に行っている身だしなみ行動を伺ったところ、**家族用とは別の、自分専用のシャンプーを持っている(22.3%)**が、**身だしなみ行動のトップ**となりました。前回と比較すると、前回/15.0%⇒今回/22.3%と、**7.3ポイント大幅に伸長**しています。その他には、「身体のムダ毛を整えている(前回/4.4%⇒今回/12.1%)」も、7.7ポイント大幅に伸長。さらには、少数ではあるものの、「ヒゲや体毛の脱毛をしている(前回/4.9%⇒今回/5.8%)」、「身だしなみチェック用の鏡を持ち歩いている(前回/1.0%⇒今回/4.9%)」、「顔のシミやシワ用のクリームを使用している(前回/2.4%⇒今回/4.4%)」、「年間を通して日常的に日焼け止めを使用している(前回/0.0%⇒今回/3.4%)」など、実際の身だしなみ行動が**より積極的・多種多様**になってきていることが推察されます。

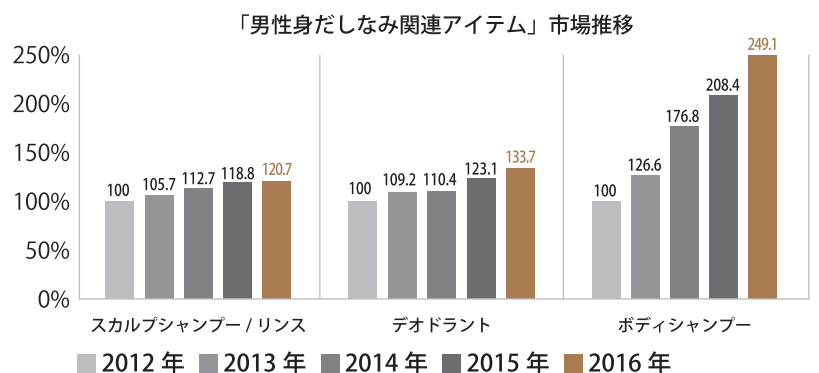
実際の身だしなみ行動TOP10



【TOPICS.1】伸長を続ける「男性身だしなみ関連アイテム」市場

昨今、男性の美容意識の高まりから、「ドラッグストア等でも男性向け身だしなみ関連アイテムのコーナーが拡大しているように、市場規模の推移を2012年から見てみると、伸長を続けています。

2012年と2016年の市場規模を比較すると、「スカルプシャンプー/リンス」で120.7%、「デオドラント」で133.7%、「ボディシャンプー」に至っては249.1%と、大きく伸長しています。今後も男性向け身だしなみ関連アイテム市場は伸長し続けると予想されます。

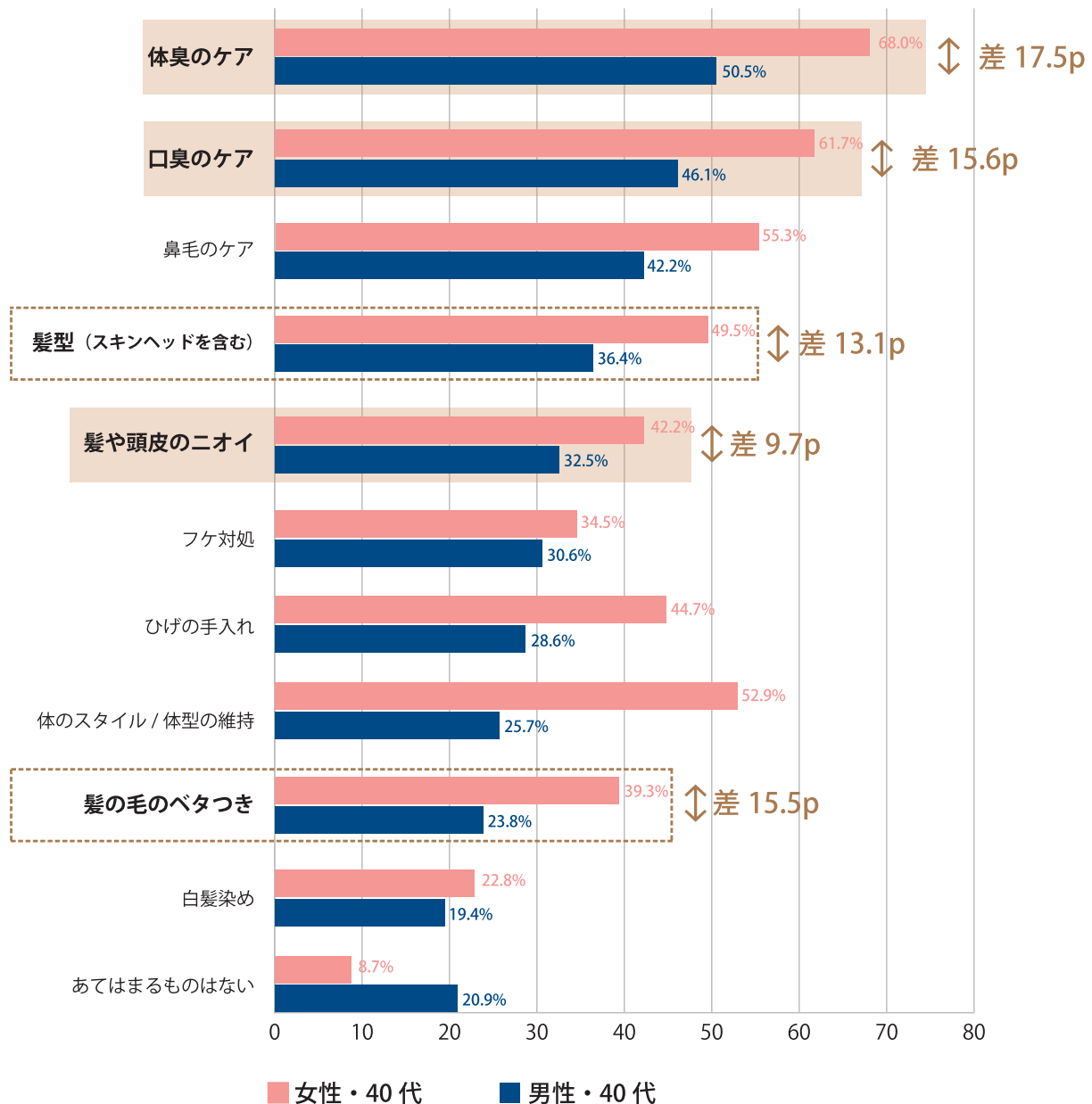


【TOPICS.2】女性から見た40代ミドル男性の身だしなみ

40代ミドル男性の身だしなみ重要度 パートナー女性の求めるレベルに達していない

40代女性に対して、夫や彼氏に対する身だしなみの重要度を伺った結果と、40代ミドル男性自身の身だしなみ重要度の結果を比べてみると、**ほぼ全ての項目でパートナー女性の求める身だしなみレベルに達していないことが明らかとなりました。**40代ミドル男性への質問で高い割合であった「ニオイケア」に関して、「体臭ケア(女性/68.0%⇒男性50.5%)」、「口臭ケア(女性/61.7%⇒男性/46.1%)」、「髪や頭皮のニオイ(女性/42.2%⇒男性/32.5%)」と、いずれも10ポイント程度の差が見られます。さらに、今回40代ミドル男性の身だしなみ重要度の高まった“頭髮周り”の身だしなみに関して、「髪型(女性/49.5%⇒男性/36.4%)」、「髪の毛のベタつき(女性/39.3%⇒男性/23.8%)」など、10ポイント以上の差が見られました。

40代男女の身だしなみ重要度の差



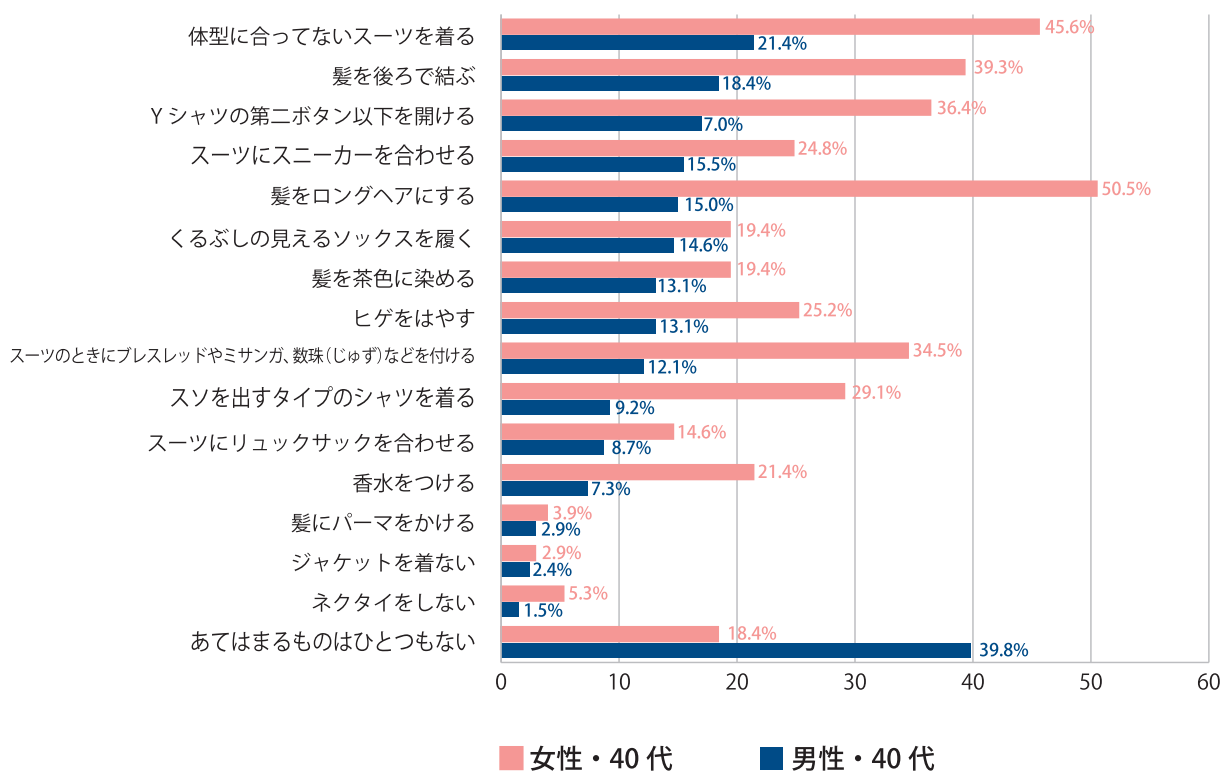
【TOPICS.2】女性から見た40代ミドル男性の身だしなみ

ビジネスシーンにおける身だしなみ

男性の寛容度は上がるも、女性の視点は未だ厳しい結果に

ビジネスシーンの身だしなみに対して「他人がやっていて許せない」行為を聞いた結果を、40代男女で比較したところ、P.7結果より、男性の寛容度が昨年より大幅に高まった「スーツにスニーカーを合わせる(女性24.8%⇒男性15.5%)」や「スソを出すタイプのシャツを着る(女性29.1%⇒男性9.2%)」などをはじめ、**全ての項目で男性より、女性の寛容度が低い**ことが明らかとなりました。また「あてはまるものはひとつもない(女性18.4%⇒男性39.8%)」においても、21.4ポイントもの大きな差が出ています。クルーズが浸透したとはいえ、**ビジネスシーンの身だしなみにおいて女性は、未だ厳しく見ている**ことが見て取れます。

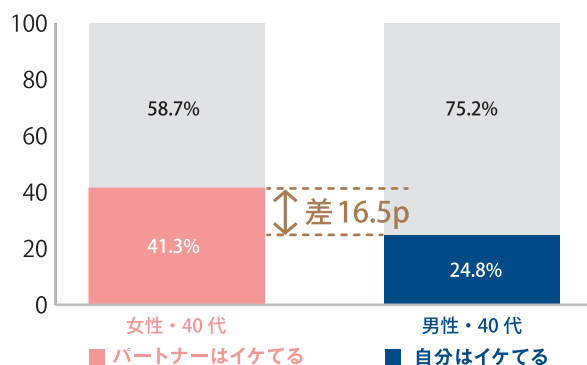
「一般的なビジネスの場(クルーズを含む)」での男性の身だしなみ行為として、他人がやって許せないと思うもの(40代男女比較)



40代ミドル男性 自身が思うよりも、 女性に評価されている一面も

40代女性に対して、「現在の夫や彼氏について総合的にイケてると思うか」を伺ったところ、41.3%の方が「イケている/どちらかと言えばイケている」と回答。40代ミドル男性「イケている/どちらかと言えばイケている(24.8%)」と比較すると、**女性の方が現在の40代ミドル男性を評価している**ことが見て取れます。

現在の「イケてる度」



まとめ

自由な生き方を求め始めた40代ミドル男性

調査の結果より、40代ミドル男性は、他年代に比べ自分に自信がなく、幸福感も低いことから、漠然と人生に不安を抱えていることが、昨年の調査結果同様に推察されます。

今年の新たな傾向としては、そのような状況を打破すべく、「欲望や欲求をおさえてつつましく生きる」よりも、「欲望や欲求に従って生きる」ことが幸せと答える割合の増加や、「カッコいい男性イメージ」の変化など、40代ミドル男性の人生の価値観の変化を見て取ることができました。

また、身だしなみケアへの共感度が総合的に上昇するとともに、ビジネスシーンにおける身なりへの寛容度が高まりました。それに伴い、実際の身だしなみ行動において、「家族用とは別の、自分専用のシャンプーを持っている」割合が急増するなど、身だしなみ意識・行動が自由に、多種多様に変化してきていることが推察されます。

今回の調査により、漠然と人生に不安を抱えながらも、身だしなみといった身近なところから少しずつ、“自由な生き方”を模索し始めた40代ミドル男性の変化の予兆が感じられました。

ルシードは、そんな彼らに、より魅力的に、よりパワフルに、そしてもっと生き活きと“日本の中心”として毎日をご過ごしてもらいたい。そんな願いを込めて、40才からの悩みを解決していく製品・サービスを提案してゆきます。

3月16日は「ミドルの日」

ルシードは、日本を支えるミドル男性のスマートなエイジングにお役立ちしてまいります。